

石川島修覆小屋借用云々 過日再應御批合ニ及ヒ候処今  
以テ御答無御座候也何御都合相成候哉何分早々御答被  
下度此段再三及御批合候也

庚午霜月八日

兵部省

工部省

御中

民部五部六部在後

九文五部在後



石川崑修覆小屋借用云々過日未再三及御掛合候処今以  
于御荅無御座当省ニ於于毛都合有之候事二ハ至急御  
答被下度此段及御掛合候也

庚午十一月九日

兵部省

工部省

御中

民部工部大藏右近衛

九八八



石川島修覆小屋御借用之儀ニ付云々御申越之趣致承知  
然ル処右一條ハ肥田工部少丞兼リ掛ニ候処同人御用ニ  
付横須賀五出張致居候間同人歸京次第御報可申進此段  
及御回答候也

庚午十一月九日

工部省

鐵道掛

兵部省

御中

民部工部大藏省住履

九十九年一月一日

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1792

石川島修船場小屋其他借用被成度旨退日未再三御掛合  
有之候処今以テ御答不申趣御掛合書被遣右者去月廿八  
日并去月二日別紙之通兩度ニ御答ニ及置候ニ付委細右  
ニテ御承知有之度此段及御報候也

庚午十一月十二日

工部省

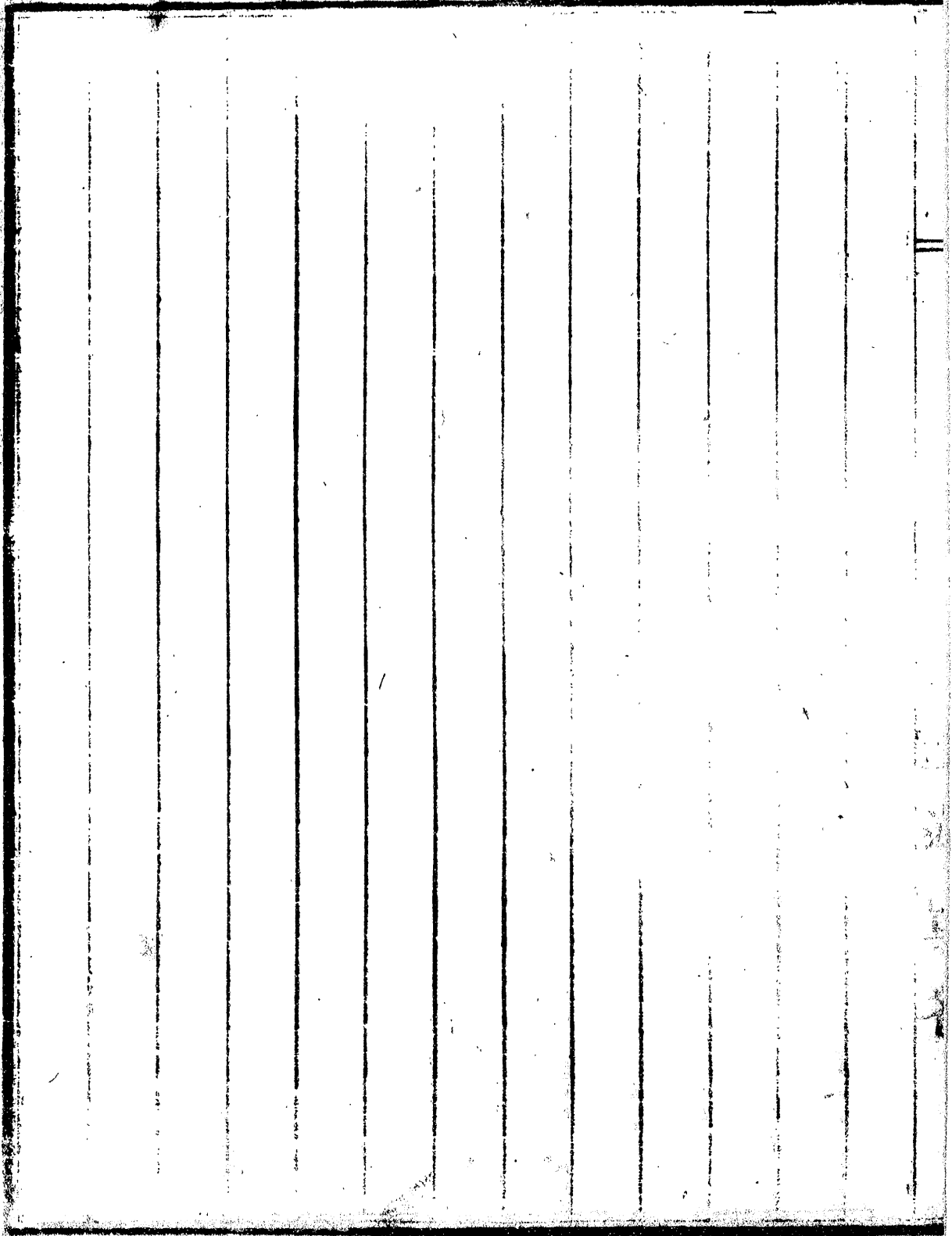
兵部省

御中

氏重親大藏右進

百

1793



1794



石川島修船所小屋一ト棟御貸渡相成候旨追日御申越之  
趣致承知候然ルニ何分手狭之儀ニ舟同所東側へ小屋一  
棟丈地所増借用致度此段及御掛合候也

庚午十一月十三日

兵部省

工部省

御中

民了了了大蔵者往後

百一 女官省

1795

漢  
字

1796

石川島修船場小屋一棟ニテハ狹少ニ付同所東側へ小屋一棟丈地所借用被成度旨御共合之趣者退日安井丹治へ及引合候外者差岡申候此段及御答候也

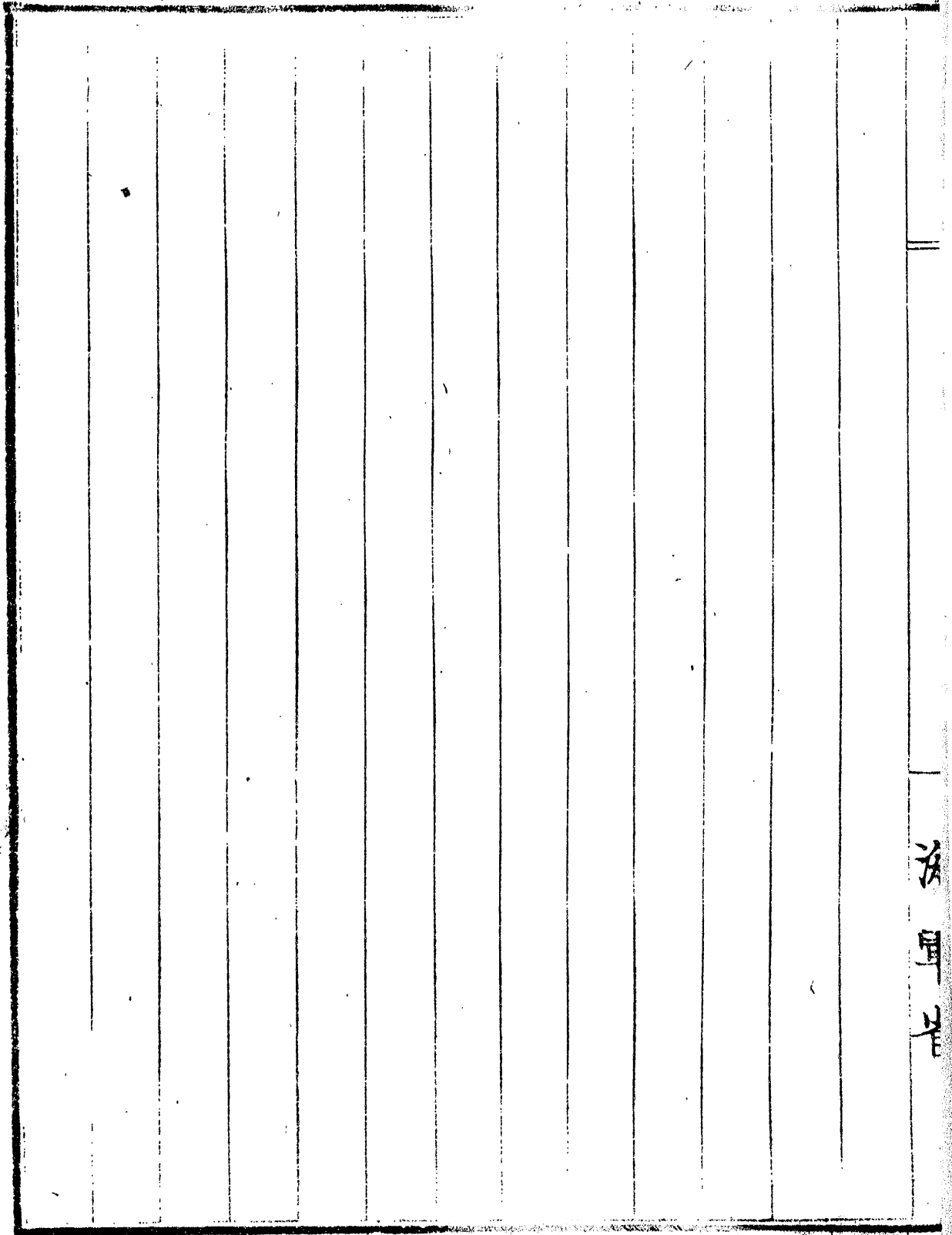
庚午十一月十三日

工部省

兵部省

御中

1797




漢  
學  
堂

1798

石川島造船所借用云々委細兼知致シ候也

庚午十一月九日

兵部省

海軍兵学寮

兵部省海軍兵学寮

百三

海軍省

1799



石川島造船所借用儀肥田権少丞ヨリ申越候次第有之候  
二月二三日間相見合居候所ニ最早先方之掛引モ相片付  
候時分ニ付今日御催促被下度奉存候此段申出仕候也

庚午十一月九日

海軍兵学寮

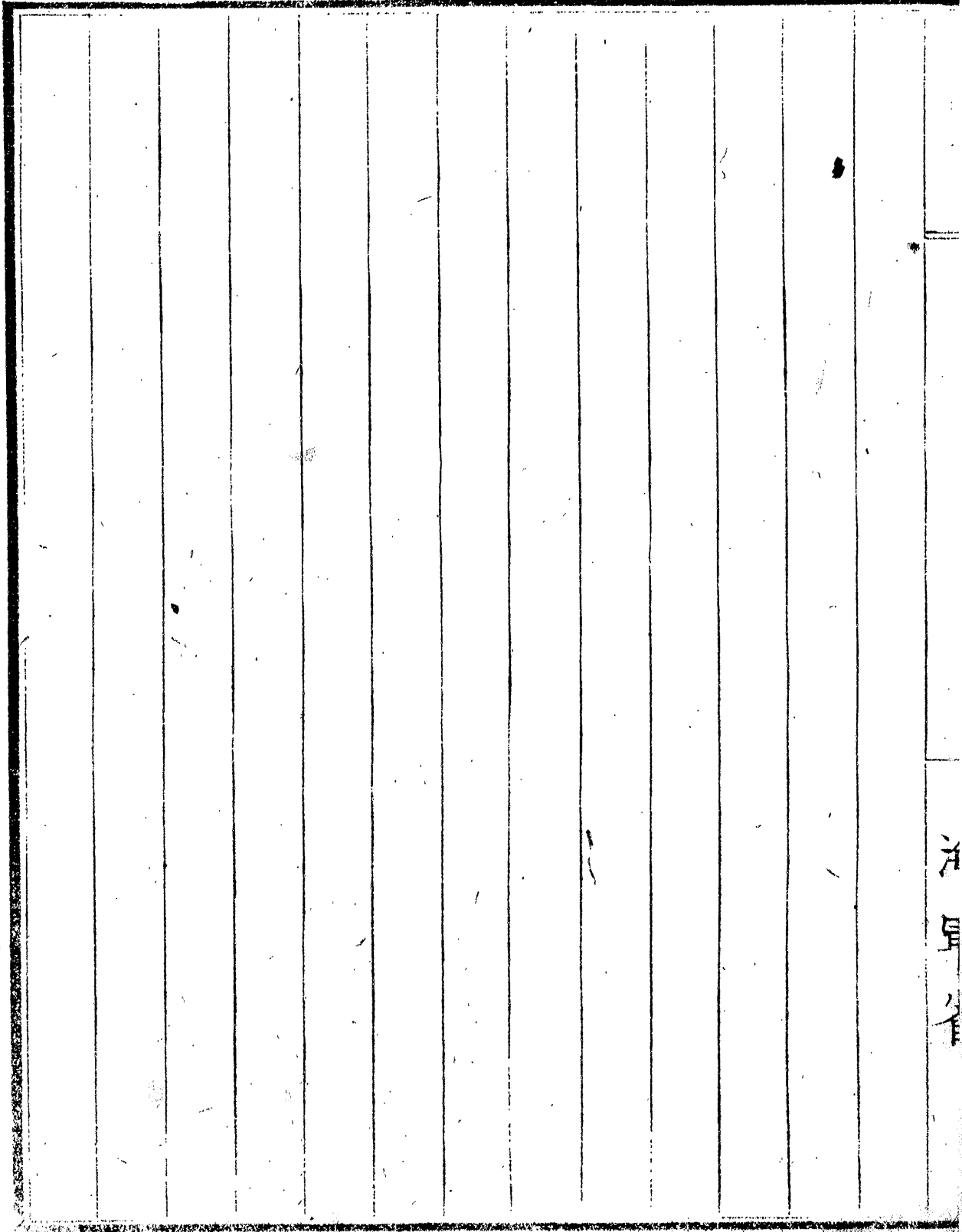
兵部省

御中

兵学寮海軍兵学寮

百四 海軍兵学寮

1801



洋  
身  
書

1802



工部省へ石川島修復小屋之儀再三裁合候處委細安井中  
助教へ及挨拶候通り惣体貸渡シ候儀差支候旨尚又答有  
之候右ハ過日被申出之通り内合ニ可有之旨之事ニ候得  
共工部省答之趣ト粗詰致シ候条以来篤ト取調之上可被  
申出候此段申入候也

庚午十一月十二日

兵部省

海軍兵学寮

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

女  
目  
年

1804

石川島修復小家借用云々再應御催促仕候次第工部省答  
振下齟齬致シ候趣尚篤下取調可申不取敢御答迄如此候  
也

庚午十一月十二日

海軍兵學寮

兵部省

御中

1805

水田書

1806

千代田形艦修復ニ付石川島造船所全体借用致シ度儀申  
出仕先日以来工部省へ御掛合被下候得共先方差支之庸  
有之全体借用ハ相成ガタキ旨ニ就テハ先日當寮官負ト  
肥田氏立合ニテ内見致シ候東側地所並ニ小屋志棟大ケ  
借用致シ度候間右之段更ニ御手数被下早々相運候様御  
掛合被下度此旨申出仕候也

庚午十一月十三日

海軍兵学寮

兵部省

1807

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

石川島修船所云々別紙之通答未候ニ付相廻ニ申候也

庚午十一月十四日

兵部省

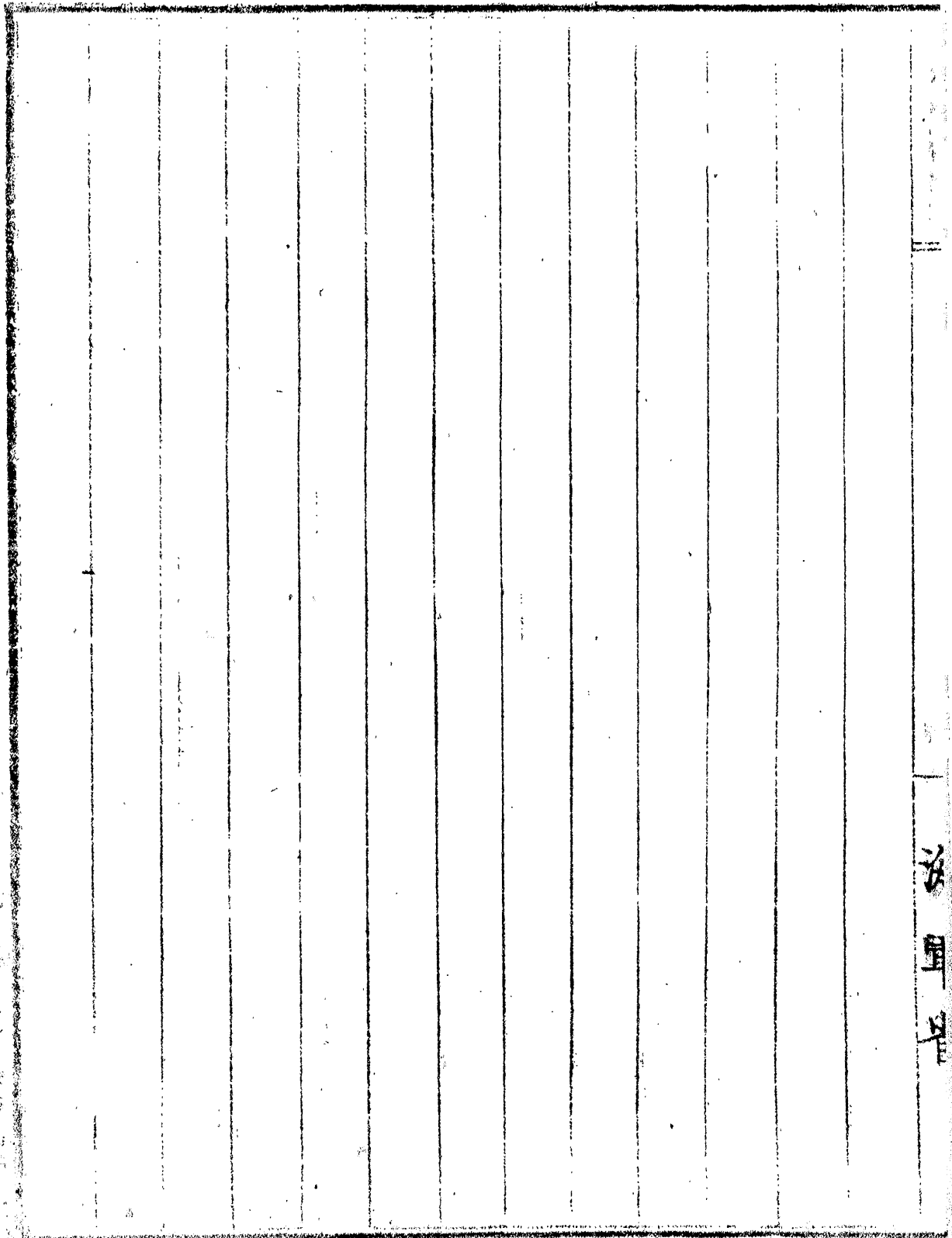
海軍兵学寮

別紙写ハ民部工部往復留ニ有)

兵部省海軍所往復

百一 海軍

1809



送  
里  
書

1810



石川島修復船所之去々別紙御廻ニ被下兼知仕候此段及  
御答候也

庚午十一月十四日

海軍兵学寮

兵部省

御中

兵部省海軍兵学寮

頁九

海軍兵学寮

1811

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

海軍省

1812

千代田形修復ニ付石川島修船場受取トシテ明十五日安  
井中助教出張致シ候ニ付兼テ申立置候修復掛リ會計志  
負出張有之度就テハ明十五日第十字マテニ當寮へ出頭  
相成候様御執計被下度此段申出仕候也

庚午十一月

海軍兵学寮

兵部首

御中

垂テ河村大丞唯今横濱ヨリ帰着相成後刺参省之趣ニ  
候事

兵学寮海軍新修復

百十 五 尾 筆

1813

漢  
字  
書  
目  
録

1814

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

千代田形艦修復場受取方ニ付明十五日會計司役員壹人  
第十字迄ニ出頭之儀委細兼知致シ候也

庚午十一月十四日

兵部省

海軍兵学寮

兵学寮海軍所往後

百十一 海軍

1815

史  
書

1816